

7. 職員による出前講座・講師派遣、視察

「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン）」で掲げた「待ちからまちへ」の理念を実現するため、各種イベントや講座会場など市内外のさまざまな市民参加の場に出向いて、関係機関と連携しながら講座や資料提供をおこなっている。テーマにそった関連資料を紹介・提供し、子どもから大人まですべての世代が読書に親しむ機会や、より広く深く情報を得られる機会となるようつとめている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、講座やイベントの中止や延期を余儀なくされた。また、図書館関係者対象のシンポジウムや研修会などの開催、視察が困難となる中、オンラインでの講師依頼やインタビューが寄せられた。

出前講座

<子育て中の保護者を対象にした絵本講座>

「子育てサークル・子育てサロン・地域子育て支援センター」「千里親子ふれあい広場」「すてっぷ読み聞かせレクチャー」等

<学びの場での子どもの読書に役立つ図書館活用講座>

「新任学校司書研修」「校内研修」「学校図書館活用研修」「マチカネ先生塾」

各種講座での資料・図書館紹介

「認知症サポーター養成講座」「とよなかまちゼミ」「ブック・トーク&トーク この本読んだ会」「庄内つくるフェス」「地域こだわりマルシェ&野菜市場」「とよなか市民環境展」「認知症サポーター養成講座」「にほんご教室」「多文化カフェ」「コラボ大学校」「里親制度の説明会・個別相談会」「公民館各種講座」等

講師派遣

- ・学校訪問（図書館見学の代替）（中豊島小学校）
- ・レファレンスデータベース企画協力員会議（国立国会図書館関西館・オンライン会議）
- ・第16回レファレンス協同データベース事業フォーラム（国立国会図書館関西館・オンライン会議）
- ・情報検索研修（障害福祉センターひまわり）

視察受入

<受入団体>（ ）は受入施設

- ・慶應義塾大学文学部図書館・情報学専攻生によるオンラインインタビュー（庄内）
- ・とよなか地域創成塾塾生（庄内）
- ・箕面おはなしボランティア（千里）

<実習・インターンシップ>

- ・同志社大学（岡町）／近畿大学（岡町）

8. 図書館協議会

令和2年度は3回（7、11、2月）開催された。

高齢化社会の進展にともない図書館に求められる役割も変化するなか、豊中市立図書館における高齢者サービスについて議論がおこなわれ「豊中市立図書館における高齢者サービスのあり方について（報告書）」としてまとめられた。

会議録は図書館 Web サイトで公開している。

令和2年度の委員一覧

名 前	団 体 名・役 職 等
山 本 恵 信	小学校長会代表
尾 崎 理 人	中学校長会代表
吉 岡 一 美	こども園長会代表
天 瀬 恵 子	豊中図書館の未来を考える会
松 田 美 和 子	豊中子ども文庫連絡会
◎ 岸 本 岳 文	学識経験者
○ 瀬 戸 口 誠	学識経験者
山 本 晃 輔	学識経験者
藤 井 新 二	市民公募

◎委員長 ○委員長職務代理者

9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有をはかる仕組みとして、平成20年度から「豊中市立図書館評価システム」（以下「評価システム」）を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。毎年の評価項目・指標については「豊中市の図書館活動Ⅱ 統計・資料」に簡略化して掲載している。

それまで「評価システム」でおこなっていた進捗管理を「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン）」（以下「グランドデザイン」）の策定を機に、平成26年度からは「グランドデザイン」の進行管理と一体化した。

令和2年度は「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下「基本構想」）の策定に際し、豊中市立図書館の基本コンセプトと3つの基本方針に対応する形で評価指標の設定をおこなった。今後は5年ごとに実施する自己点検および外部評価において「評価システム」の評価項目・指標なども見直すなかで「基本構想」の評価指標を取り入れ、今後の「評価システム」全体について検討をしていく。なお、「グランドデザイン」の目標設定や進行管理は「基本構想」に包含する形で継承される。